

碩心

可認岳風吟学院詩吟社
川奈神 碩心會 發行

8年1月 逗葉大 子山船 地区区 地区区 計	現在 地区区 地区区 計	會員數 169名 204名 45名 418名	282号 者者 者者 集集 集集	1月 岸 村	8年 根 編 中
---------------------------------------	-----------------------	------------------------------------	------------------------------	--------------	-------------------

新年のごあいさつ

会長 根岸 岳 萃

平成八年の新春を皆様ご家族共々迎えられましたこと、心からお慶び申しあげます。今年も亦、楽しく吟道に活躍されますことを、心から期待しております。

昨年は一月の阪神大震災にはじまり、色々な事件が発生しましたが、今年は何よりも、平和な年であるよう祈ります。

私も昨年は体調をくずし、皆様方に色々ご心配をおかけし、又ご迷惑をかけたこと、申し訳なく思っております。しかし、皆様のお力添えで、碩心会の一年間の行事も無事終了できましたこと、心から御礼申し上げます。私も少しづつ快方に向っております。皆様も「健康第一」の言葉を胸に、体にはくれぐれも気をつけられますよう心から祈ります。

今年も「和」の精神をモットーに

副会長 加藤 岳 相

会員の皆様が、今年も希望に満ちた新年を迎えられたこと、心からお慶び申しあげます。吟道を通じて、よく「和」と云う言葉が使

われますが、連吟、合吟も和がなければよい吟とはなりません。特にコンクール等では尚更です。昨年第三回神奈川地区大会に、逗子地区女性会員が、悪天候をおかして合吟コンクールに出場し、上位入賞。第106回全国大会の出場権を獲得、碩心会の名を全国に高揚していただきました。メンバーの和の成果と、担当の先生の指導の賜と感謝しております。和の精神は我々の人格の向上にもつながります。今年もこの和をモットーに、益々吟道に精進されますことを心から願います。

来年の記念大会にそなえ御精進を

副会長 千葉 岳 関

お互いに健康で新春を迎えられましたこと御同慶に堪えません。今年も吟道精神に則って、大いにがんばりましょう。

来年は碩心会創立六十周年の大節目を迎えます。先賢の名を恥ずかしめないためにも、立派な記念大会をもちたいものです。そのためにも、これからの一年は、あらゆる面において、精進が必要ではないかと思えます。会長を大いにバックアップしながら、会としての実績を積みあげようではありませんか。

賀正

今年も
がんばりましょう



指導者一同より(数字は名簿番号)

(逗子地区・25名)

- 1 根岸岳 3 千葉岳 4 三井岳 19 松野宝岳
 - 24 黒崎李岳 26 村田滯岳 27 渡辺秀岳 31 清水耀岳
 - 37 西村昌岳 51 内山俊岳 59 磯村朋岳 65 立澤御岳
 - 87 川瀬弘岳 91 小形雄岳 96 松井正岳 99 三壁照岳
 - 105 水上昌岳 106 森 晴岳 109 菊池祐岳 110 星野輝岳
 - 119 鈴木南風 121 一柳良風 140 村井知風 161 西川幸風
 - 233 草柳武風
- (葉山地区・31名)
- 2 加藤岳相 5 沼田岳雷 6 小峰岳海 7 井沢岳潮
 - 8 加藤岳洵 9 中村岳郵 10 竹石岳泓 11 中村岳愛
 - 14 鈴木岳抄 15 守谷岳琅 16 杉山岳雪 17 秋元岳梁
 - 22 佐藤湧岳 23 矢嶋悦岳 28 石渡桂岳 29 笠原珠岳
 - 30 沼田義岳 33 白井麗岳 40 網川晃岳 43 上村象岳
 - 44 渡辺誠岳 47 佐久間 岳 49 加藤朋岳 64 寺脇宇岳
 - 92 福本辰岳 126 高井定風 129 小菅幸風 133 広瀬晴風
 - 135 加藤芳風 141 加藤健風 147 川口喜風
- (大船地区・8名)
- 12 森田岳鈴 13 岩崎岳恵 18 山口夕岳 35 鈴木萃岳
 - 48 木村松岳 77 光岡洗岳 80 宇部 館 岳 243 南湖収風

平成八年度 主な行事予定

(総本部関係)

- 3・24(日)第2回全国優秀秀吟者吟道大会 (九段会馆ホール)
- 7・1(月)岳風忌 (諏訪、地藏寺)
- 7・20(土) 第42回 (九段会馆ホール)
- 7・21(日) 夏期吟道講座 (日本教育会館)
- 9・29(日) 学院創立60周年記念 (明治神宮会馆)
- 10・27(日)第2回全国青壮年吟道大会 (東京神田パンセホール)
- 1・28(日)県本部初理事会 (彌願壇ソタ)
- 2・4(日)準師範講習会 (平塚農業会館)
- 2・11(日)高段者審査会 ()
- 2・18(日) " ()
- 5・12(日)横・一地区大会 (横須賀文化会館)
- 5・26(日) 高齢者年齢別コンクール (平塚農業会館)
- 6・9(日)横・二地区大会 (鶴文化会館分館)
- 6・16(日)県本部総会 (彌願壇ソタ)
- 6・23(日)神奈川地区吟道大会 (綾瀬文化会館)
- 7・14(日)京浜地区大会 (未定)

- 8・11(日)指導者吟道講座 (エポック中原)
- 8・25(日)湘南地区大会 (大和市中央文化会館)
- 9・8(日)神奈川地区青少年大会 (未定)
- 9・29(日)全国吟道大会参加 (明治神宮会馆)
- 11・17(日)高段者吟法講座 (平塚農業会館)
- 11・23(土)県本部納会 (未定)

- (県本部協賛事業予定)
- 8・3(土)8・8(木) 中国吟行会
- 11・9(土)11・11(月) 県本部吟行会 (長野方面)
- (碩心会関係)
- 1・14(日)初吟会 (逗子会館)
- 3・3(日)春期審査会 (逗子図書館ホール)

高段者審査会

日 時 2月11日(日)9時より受付
2月18日(日) "

会 場 平塚農業会館
◎当日高段者審査申込書、吟道手帳持参、
審査料(二千円)と共に受付へ提出

記念館建設 寄付金納付期限について
碩心会としては左記の通りお願いします。

◎平成八年二月十三日迄に
松井正岳方へ

逗子地区 悠吟支部発足 (7・11・1日付)

一柳道岳先生死去により、逗子Aより独立、悠吟支部として発足しました。指導は千葉岳関先生。会員は左記の方々です。

- ◎191 小野祥風 203 小野裕風 227 大野妙風
- 274 松岡杏山 295 時田千山 308 二戸部剛山
- 314 下村佳山 335 渡辺香山 336 中村紫山
- 351 渡辺信山 383 高館弘泉

◎支部長 小野祥風

(名簿の所属支部を訂正して下さい)

温習会 無心で吟ずる緊張感

沼間 裕野 孝風

好天に恵まれた12月9日、逗子地区吟道温習会が図書館ホールで開催されました。プログラムにそって9時30分開会、碩心会の詩を合吟、日頃錬成された吟を、それぞれ思う存分發揮されて、予定通り16時終了。有意義な一日を過ごすことができました。

詩吟は(心の友)と申しますが壇上に立つて、無心の境地で吟ずる緊張した瞬間は、何にもかえる事のできない大事なもので、健康増進に大いに役立つことを痛感しています。

温習会の役目を終えて

真澄 森 晴 岳

逗子地区の副部長を受けてから、今年早くも二回目の逗子地区吟道温習会がやってきました。まずは村田先生に教わりながら、田中明岳さんと共にプログラムの編成。途中松井先生も応援に来て下さり、糊で貼ったヒラヒラの細長い紙の行列、巻紙のプログラムの原稿が出来上り印刷屋さんへ。後日校正刷りが出来て校正、慎重に何度も目を通す。そして立派なプログラムが出来上り各支部に配布、手に取ってじっと眺める。プログラム作りは順序、時間割り等難かしく、今更ながら諸先輩の先生方に頭が下がります。

いよいよ本番当日。今回は会場が日曜日にとれず土曜日の開催となりましたが、12月9日は快晴。定刻通り開会、会員吟詠の熱吟にはじまり、優美な詩舞等、予定通り進行。案じくすばらしい温習会になり無事終了。

役員の皆様、きびしい冷えこみの朝早くからお疲れ様でした。只根岸会長が出席していただけなくて残念でしたが、来春には会に出て下さるとか：心待ちにしております。

十五周年詩吟のつどい御礼

堀内・F 矢嶋 晃風

晴天に恵まれた海の見える高台の真名瀬会館に於て、12月3日(日)堀内支部F班の十五周年の会を行いました。先生方にはお忙しい中御参加下さいまして、会員一同心から御礼申しあげます。又元気になられた根岸会長先生のお姿をみて心から嬉しく思いました。

ふり返れば十五年前、姉(悦岳)が詩吟の教室を設けることになり、叔母、従姉、ご近所の方6人で始めました。何事にも全力を尽くし一生懸命な先生に共感を抱いてくれ、仲間が増え、今では会員数26人となり、このような会を迎えることができました。

会員の間で色々構想を練り、来春にでもと思っておりましたが、小西の叔母(83才)が元気なうちに舞台に立たせてあげたいとの、たつての先生の意見に従うことになりました。ご出席の先生方の、吟に対する思い入れが私達の心に伝わり感激いたしました。又至らない私達の吟に舞をつけて下さった先生方がどうぞございました。今後共、尚一層吟道に精進したいと思っておりますのでよろしく。

これからも詩吟を一生の友として

堀内・F 葉山 寿風

矢嶋先生、本日はおめでとうございます。又、私達矢嶋教室のためにお出で下さいました先生方、並びに、いつも温かく見守って下さるご近所の皆様、本日は御出席いただき、ほんとうにありがとうございました。

今から七年程前、矢嶋先生から「何か一生の趣味を見つけてみない？」という誘いを受け、それまで詩吟という言葉すら聞いたことのなかった私に、吟ずることの喜び、それにも増して、多勢の吟友と知りあう機会を与えて下さいました先生に感謝しております。

秋の文化祭には、立派な舞台で、スポットライトを浴び心躍らせる喜び、舞台の袖で出を待つ時「頑張つて」と励まされ、舞台を下りると「よかったよ、お教室の時より上手だったよ」と言葉を受けた時、胸一杯に広がる満足感ば言葉では言い表わすことができせん。

これからも詩吟を一生の友として、細く長く続けたいと思います。今後ともよろしくご指導下さいますようお願いいたします。

元旦初吟

木村 岳風

初夢圓に迎う元旦の天
曉風に飄爽として旭旗翻る
屠蘇一献心身朗らかに
吟じ起す新春の正氣篇

鴛鴦歌

(狂歌)

夫婦相和す君羨やむなかれ
ただ憐む双鬢白霜の侵すを
偏に喜ぶ日常唯一の楽しみ
五十年來吟を忘れず

爺吟ずれば婆亦和す
春花秋月斯心を養う
汝百迄吾九十九まで

鴛鴦の契り老いて愈深し
相生之松風颯々

吾は詩を吟じ妻は舞を舞う

右の狂歌がびつたしの私達になり、新しい年を迎え又一つ年を重ね、めでたくもあり、めでたくも？が本音です。でも吟友の皆さん、健康に気をつけて、今年も楽しい一年となりますようがんばりましょう！

広報副部長 山口 夕岳

破魔矢受く天澄みきつて鴛の笛

老の日はかくす術なく初笑い

広報副部長 佐久間 爽 岳

田の神へ声かけてゆく齋摘み

古文書を蔵にねむらせ冬椿

12月号新入会員

434 坂本泰治(氏名訂正)

(住所変更)

12 森田岳鈴 (新)横浜市泉区中田東4-19-7

75 猪股房岳 (新)逗子市沼間6-10-5

(退会)

61 須藤美岳(下山口) 263 小林佐山(長柄)

367 八木下京泉(逗子A)

辞書によると「元旦」という言葉には、物みな改まつて感じられる、という意味が込められているそうです。亥年の昨年は、色々悲惨な出来事がありました。今年も千支も一巡して子年。悪いことはみな改まつて、今年が良い年となりますよう。一月は「睦月」。頑心会も心新たに、和を以って連携を保ち、会員増加にがんばりましょう。